

二・二六事件 脱出 (1962)

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1962/03/14

【解説】

実話を元にした小坂慶助の小説『特高』をもとに「誘拐」の高岩肇が脚本を書き「万年太郎と姐御社員」の小林恒夫が監督したスリリングな娯楽大作。撮影は「モーガン警部と謎の男」の藤井静、音楽は「流し雛」の木下忠司が担当した。主演は「べらんめえ芸者と大阪娘」の高倉健と「飼育」の三国連太郎。

昭和十一年二月、青年将校たちによるクーデターが勃発。首相官邸が襲撃され、岡部首相にそっくりの鈴尾大佐が射殺される。首相は女中部屋の押し入れに匿われ一命を取り留めるが、官邸は将校たちに包囲されてしまう。秘書官の速水は麹町憲兵分隊に救援を求めたが、警戒線が厳しく官邸に近づくことができないと拒否された。速水は首相の遺骸に花を捧げたいと官邸に入り、射殺されたのが鈴尾大佐であることを確認、女中部屋で首相との再会を果たす。首相が生存していることを知った麹町憲兵分隊の特高係小宮曹長は、独自に首相の救出作戦を敢行するのだったが…。

【クレジット】

監督 小林恒夫

企画 吉野誠一

原作 小坂慶助

脚本 高岩肇

撮影 藤井静

美術 田辺達

音楽 木下忠司

出演 高倉健

江原真二郎

千葉真一 Shinichi Chiba

中原ひとみ

三国連太郎